

医療ルネサンス No.6027

前立腺がん最新事情

5/5

Q&A



東北大病院
泌尿器科教授

荒井 陽一さん

1978年京都大学医学部卒。同大病院泌尿器科講師、倉敷中央病院泌尿器科主任部長などを経て2001年12月から現職。日本泌尿器科学会理事も務める。

前立腺がんの治療について、東北大病院（仙台市）泌尿器科教授の荒井陽一さんに聞きました。

「前立腺がんとは、どのような病気ですか。」

「精液の一部をつくる前立腺に発症します。昨年の患者数は推計約7万5000人。高齢化を背景に今後も増え続けると予想されています。」

「通常、症状はありません。『尿が出にくくなった』という患者さんがいます。多くは『前立腺肥大症』という別の病気です。」

「『どのような検査をしますか。』

「前立腺の細胞が作り出す『PSA』という物質が血液中にどれだけあるかを調べ、通常は基準値（4ナ

障害や尿失禁が起こりま
ありま

「ホルモン療法」と
は、どのような治療ですか。

「放射線治療は、体の外から放射線を当てる『外照射治療』と、長さ5ミリ程度の線源を前立腺に埋める『小線源治療』などがあります。いずれも一時的に尿が出にくくなることがあります。」

「後遺症が出ない治療法はありますか。」
「前立腺がんは、ゆっくり進行します。がんが小さな運動をし、食生活に気を配る必要があります。」

「確定診断のためには直腸などから針を刺して前立腺の組織を取る『生検』を

「特別な予防法はありませんが一度、PSA検査を受け、自分の数値を確かめておきましょう。次に測った時に数値の上がり方が急であれば要注意です。」

「監視療法」で経過観察

します。通常10〜12カ所、針を刺して腫瘍の有無を調べます。MRI（磁気共鳴画像検査など）も行います。」

「診断されたら、どのように対応しますか。」

「腫瘍が前立腺内にとどまっていれば、手術や放射線治療により根治が期待できます。手術では最近、体への負担が軽い『ロボット手術』が普及してきています。ただ、手術後は性功能

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

「前立腺がんは経過が長いからです。治療後の生活がどうなるかを理解し、納得した治療を受けてほしいです。」

くらし 家庭